

## ■逗子文化プラザホール施設概要

ホール開館日 平成17年6月19日(日)

ホール延べ床面積 4,127 m<sup>2</sup>

### ○施設構成

大ホール(なぎさホール)555席・小ホール(さざなみホール)160名・ギャラリー72m<sup>2</sup>

音楽練習室3室・楽屋5室・ほか

文化プラザ(図書館・市民交流センター・逗子小学校)の熱源、受電等中央監視設備

### ○開館時間等

開館時間 午前9時～午後10時

休館日 第1、第3火曜日(ただし祝祭日の場合はその翌日)・年末年始

### ○施設構成利用率など (利用統計は平成21年度)

#### 【大ホール(なぎさホール)】

555席の固定席を持つ、クラシック音楽を中心とした多機能ホール。(残響1, 9秒空席時)

(車いすスペース3台・親子室・だれでもトイレ)楽屋3室

客席はワンスロープ形式で椅子の間隔を広く配置(100cm以上(背から背))

#### ◆おもな催し物

音楽関係(56%)演劇ミュージカル(10%)映画映像(10%)など。

利用率 77%(利用可能日 319日・利用日 245日)

#### 【小ホール(さざなみホール)】 154 m<sup>2</sup>平土間方式で昇降式舞台を持つ多目的スペース

残響時間を抑えた設計(残響1, 0秒空席時)で、飲食可能な多目的ホール

定員160名の可動椅子(スタッキングチェア)、楽屋2室

大ホールの楽屋利用を可能とする機能を設置

#### ◆おもな催し物

音楽関係(46%)舞踊(9%)美術(8%)講演講座(7%)楽屋(6%)など

利用率 91%(利用可能日 322日・利用日 294日)

#### 【ギャラリー】 72 m<sup>2</sup>(12m× 6m) 高さ3,1m

利用率 80%(利用可能日 334日・利用日 268日)

#### 【練習室】

防音設備を施した音楽練習室、ドラムス&電気楽器の練習可能な1室を用意

各ホールの楽屋利用を可能とする機能を設置

練習室1 25 m<sup>2</sup> 利用率 99%

練習室2 32 m<sup>2</sup> ドラムセット、キーボード、ベース&ギターアンプ 利用率 97%

練習室3 34 m<sup>2</sup> アップライトピアノ(ヤマハ U3) 利用率 94%

## ■文化プラザホールの運営について

逗子市による直営方式 所管課 : 市民協働部文化振興課

### 文化プラザホール(文化振興課)の事業内容

#### 自主文化事業

##### ①施設貸出事業

市民文化支援事業、ホール、ギャラリー等の施設貸出、利用の案内、公演アドバイス事業  
危機管理とリスクマネジメント

舞台上の事故防止とお客様の安心安全の確保

##### ②鑑賞事業

音楽、演劇、古典芸能などの鑑賞

(アフタヌーンコンサート・オーケストラ演奏会・能公演)

##### ③育成支援事業

ワークショップ事業、アウトリーチ事業、鑑賞事業に関連した講座事業

(市民レセプション「re-se」育成・be-be@プラザ事業・市民企画公募事業)

##### ④参加創造事業

市民参加公演の企画・制作・運営(音楽、演劇、古典芸能等)・フェスティバル事業

(逗子子どもフェスティバル・逗子湘南映画祭・逗子市手づくり絵本コンクール)

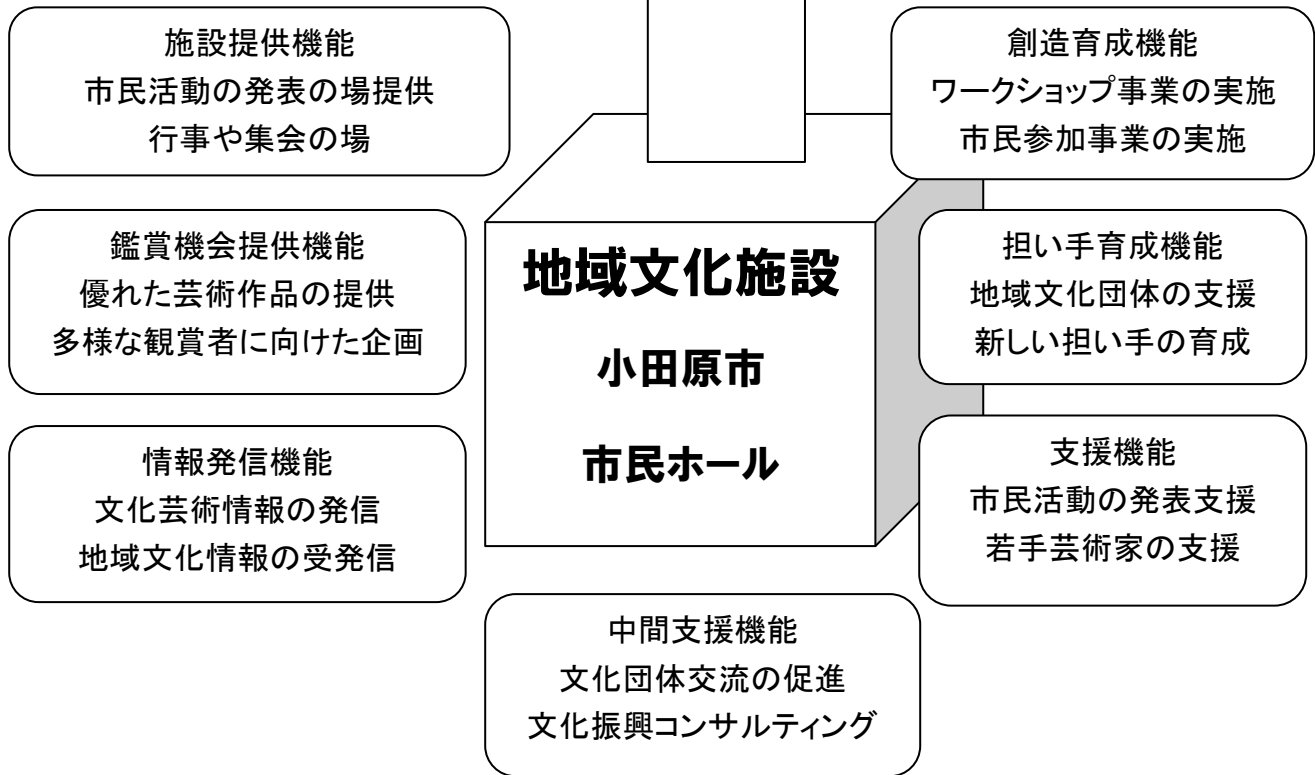
## 施設維持管理事業

施設の機能維持と安全管理(日常点検と保守点検)  
中長期施設維持管理計画(設備の更新と改修)

## 文化活動振興事業

文化振興計画の推進・市民団体支援  
(まちなかアカデミー事業・逗子市文化祭事業)

**希望と活力のあふれる小田原**  
(とだてる・感動する・つくりあげる)



施設の長寿命化とお客様の安心・安全・危機管理機能

**市民と行政の協働**  
(新しい公共)

文化芸術は市民のもの  
地域が文化施設運営をサポートする

文化振興ビジョンの策定  
芸術文化創造拠点施設の整備

市民・文化団体・芸術家・企業・地元商店街・文化NPOなどが  
文化施設を支える仕組みづくり  
行政依存からの回避

文化施設整備の推進  
未来への投資  
文化振興ビジョンの策定  
継続的施策の推進